

まごころ通信

教育長コラム

「研修の場をひろく」 ～おだわら未来学舎～

本市では、教職員の資質や指導力の向上を図るため様々な研修を行っています。その中でも教職員の知識やスキルに磨きをかけるため設けているのが「おだわら未来学舎」です。令和5年度に4回行ったおだわら未来学舎での研修について、何回かに分けてご紹介します。

おだわら未来学舎とは、

○社会が大きく変化し、教育環境が変わっていく中で小田原の子ども達のために教育への理想と情熱を持った現役の教師を支援する場とする。

○教育環境が抱える様々な課題に積極的に取り組むエネルギーや教師としての力（学級経営力・授業力・人間力等）を高めることにつなげる。

ことを目的に、本市だけでなく箱根町・真鶴町・湯河原町・県西教育事務所にも広く呼び掛けて実施しています。コロナ禍で一時休止やオンライン開催の時期もありましたが、継続的に実施をしてきました。

勤務時間外に希望制で実施するにもかかわらず毎回100名程度の参加者があり、教職員の意識の高さが伺えます。

今回は第1回（令和5年5月26日）早稲田大学 小林宏巳教授の講話についてお話しします。

テーマ「探究的な学びとはなにか」

「探究的な学びとはなにか」をテーマに、探究的な学びが総合的な学習の時間以外でも必要になっていること、児童生徒が受け止めている感覚は、成長するにつれて体験的な捉えから調べ学習的な捉えに変化して

いること、論理的な考え方や追及ももちろん必要だが「なぜ?」「おや?」と感じる、問いことことん向かっていくという気持ち的な視点（情緒）が大切であること、探究とはきれいに進むものではなく、時間がかかること、先生方が思い描く構成はきれいなものかもしれないが、実際は構築していくものであること、そして、探究（きわめる）を大切にしてほしいとお話いただきました。

参加者からは、我々教員自身も自己決定をし、対処し続け、また子どもの学びの中にも事中修正（その都度修正していく）という言葉を意識していくことの大切さを学ぶことができた等の感想が寄せられました。



ここ数年で、多くの経験豊かな教師が退職し多くの新卒者が採用されました。彼らは、日々必死に指導力の向上に努めています。この4年間コロナ禍にあって、対面での授業、学び合いを核とした授業は経験してこられませんでした。若い教師の力量向上は、子ども達の知・徳・体の健やかな成長ひいては社会力を育むことは極めて重要です。

ひろかれた校内研究、未来学舎を核として、今後も小田原市の教育の向上に力を注いでまいります。

小田原市教育委員会教育長

柳下正祐



学校給食センターと共同調理場の 小田原市 p38164

給食写真をホームページに掲載しています

子供たちがどんな給食を食べているのかな？ 今日の給食おいしかったかな？
学校給食センターと共同調理場で作った給食写真を毎日公開しています。ぜひご覧ください。

学校給食センター

【対象校】

城山中学校、白鷗中学校
白山中学校、鴨宮中学校
千代中学校、酒匂中学校
泉中学校、城北中学校



橘学校給食共同調理場

【対象校】

前羽小学校
下中小学校
橘中学校
下中幼稚園



豊川学校給食共同調理場

【対象校】

豊川小学校
城南中学校



国府津学校給食共同調理場

【対象校】

下曾我小学校
国府津小学校
国府津中学校



令和6年度放課後子ども教室が始まりました！

令和4年の秋から再開した放課後子ども教室ですが、今年度も、6月から市内の全ての小学校でスタートすることになりました。例年、参加者からは「楽しかった！」「また参加したい！」といった声を多くいただき、おかげさまで好評をいただいております！

～放課後子ども教室とは～

放課後子ども教室は、対象学年の児童であれば誰でも参加でき、宿題や体験学習をしたり、友達と遊んだりして過ごす放課後の居場所です。学校の空き教室等を利用して運営しています。

放課後子ども教室での過ごし方（例）

学校終了後	  	放課後子ども教室で受付をします。	
前半		宿題や学習プリントをします。 わからない点は学習アドバイザーが教えてくれます！	
後半		自由に遊んだり、スタッフが絵本の読み聞かせをしたりします。 地域の方を講師に招いて体験学習を実施します。	
下校		最長でも午後4時までには下校します。	

放課後子ども教室では、随時運営スタッフを募集しています。ご興味のある方は市教育総務課地域教育推進係にご連絡ください。(TEL：0465-33-1731)